

2020年10月14日

LUMIX初、映像制作の自由度を高めるボックススタイルのミラーレス一眼  
デジタルカメラ LUMIX DC-BGH1 発売  
GHシリーズの系譜を継ぐ動画性能と  
プロフェッショナルの制作現場に応える信頼性・拡張性



**LUMIX** ミラーレス一眼カメラ (ボディ) 「DC-BGH1」  
(2020年10月 パナソニック)

品名	デジタルカメラ
品番	DC-BGH1
メーカー希望小売価格	オープン価格
発売日	11月19日
月産台数	受注生産

パナソニック株式会社は、LUMIXとして初めてボックススタイルを採用したLUMIX BOX「DC-BGH1」を11月19日より発売します。

本製品は映像制作に特化した小型サイズのボディに豊富な入出力インターフェースを搭載しました。撮影現場に合わせて自在にカスタムできるため、三脚やジンバルを活用した一般的な制作スタイルに加え、マルチカメラ撮影など幅広い撮影現場に対応可能です。マイクロフォーサーズ規格の本製品は、LUMIX GHシリーズの動画性能を継承し、10.2M Live MOSセンサーとデュアルネイティブISOの高感度画質、4:2:2 10 bit記録、記録時間無制限<sup>(※1)</sup>等を備えています。LUMIX Sシリーズの開発で培った技術も継承し、13ストップ V-Log L、シネライクD2/V2、Cinema4K 60p 10 bit記録、リアルタイム認識AFに対応しました。また、LUMIXとして初めてBNC端子とLAN端子を搭載し、3基のBNC端子はそれぞれ3G-SDI出力、Genlock入力、タイムコード(TC IN/OUT)に対応しています。LAN端子ではパソコンからの複数台制御(最大12台<sup>(※2)</sup>)や、PoE+対応機器からの給電が可能です。更に、本機の発売に合わせてLUMIX制御用のSDKを一般公開します。本機を始めとするLUMIX Tether対応機種をUSB経由で操作するAPIを使用して、自由なソフトウェア開発が可能になります。

当社は、現場に合わせて自由にカスタムできる本製品により、収録や配信の現場で新たな表現を求める映像クリエイターと共に新たな映像文化を創造していきます。

## <特長>

### 1. LUMIX初、映像制作の自由度を高めるボックススタイルのカメラ

### 2. GHシリーズの系譜を継ぐ優れた動画性能

- ・10.2M Live MOSセンサーとデュアルネイティブISOテクノロジーが実現する高感度画質
- ・優れたハイライト耐性を持つ13ストップ V-Log L
- ・当社マイクロフォーサーズ規格初のCinema4K 60p 10 bit動画記録など充実の動画記録モード
- ・すべての記録モードで記録時間無制限(※1)

### 3. プロフェッショナルの制作現場に応える信頼性・拡張性

- ・LUMIXとして初めてBNC端子(3基)とLAN端子(PoE+対応)を搭載
- ・1台のパソコンから本機複数台(最大12台(※2))をLAN制御可能

※1:記録時間はバッテリーとメモリーカードの容量に依存します。本体温度が上昇した場合、本機の保護のため、自動で撮影が停止する場合があります。

※2:接続環境や接続するパソコンのスペックにより、動作が不安定になる可能性があります。

●電源が確保できない場所での撮影時には、別売のバッテリーパック(AG-VBR59/AG-VBR89G/AG-VBR118G)と充電用の別売バッテリーチャージャー(AG-BRD50)が必要です。

## 【お問い合わせ先】

LUMIX・ムービーご相談窓口

フリーダイヤル 0120-878-638(受付9時~18時)

## 【特長】

### 1. LUMIX初、映像制作の自由度を高めるボックススタイルのカメラ

●マルチカメラや従来の撮影スタイルまで、プロの映像制作現場のニーズに合わせてフレキシブルに対応するカスタマイズ性

LUMIX初の斬新なボックススタイルのボディに、LUMIX GHシリーズで培った高度な動画性能を凝縮しました。トレンドになりつつあるマルチカメラ撮影に対応すべく、プロユースの拡張性の高いインターフェースをボディにレイアウトすることで、幅広いプロの映像制作現場を全方位的にサポートします。他社製のモニター、レコーダー、マイク、リグ、三脚、ジンバル、ドローン、オペレーション機器などとの連携で、ユーザーのニーズに合わせた自由度の高いカスタマイズ性を提供します。コンパクトなワンマン撮影から、複数台のオペレーションが必要なチーム体制の撮影現場まで幅広く対応が可能です。



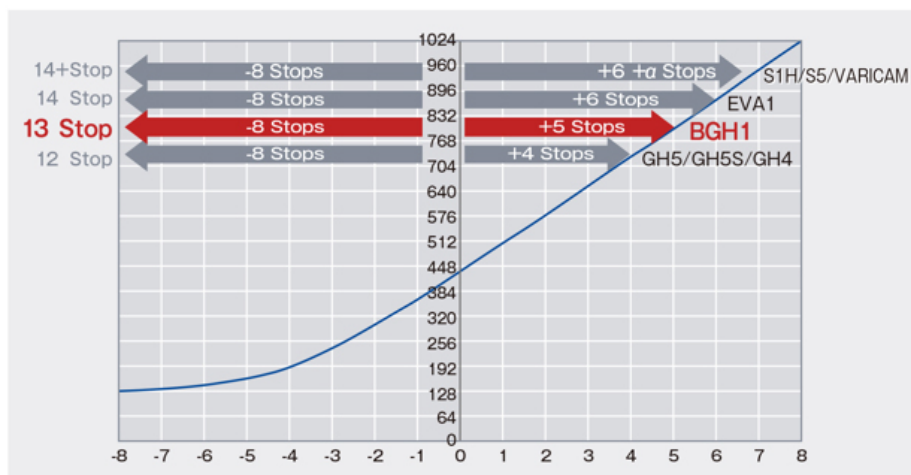
## 2. GHシリーズの系譜を継ぐ優れた動画性能

### ●10.2M Live MOSセンサーとデュアルネイティブISOテクノロジーが実現する高感度画質

高感度に優れた有効画素数10.2M Live MOSセンサーを採用し、低照度環境下でも美しい描写を実現します。また、1画素ごとに専用回路を2系統備えた「デュアルネイティブISOテクノロジー」を搭載。ノイズが増幅してしまう高ISO感度設定時、「低ISO感度回路」と「低ノイズ・高ISO感度回路」の2系統を切り換えることで、ノイズを抑えたより自然で美しい静止画・動画記録を可能にしました。常用の最高ISO感度はISO51200、拡張ISO感度はISO204800を実現し、撮影範囲の可能性を広げます。

### ●優れたハイライト耐性を持つ13ストップ V-Log L

本機は、優れたハイライト耐性を持つ13ストップの広ダイナミックレンジを実現しました。暗部からハイライト部分まできめ細かに描写し、映像制作の編集で自由度の高いカラーグレーディングを可能にします。V-Log L撮影時に、LUT適用後の映像を外部モニターに表示するV-Logビューアシスト機能で仕上がり時のルックを確認することができます。また、ポストプロダクションにおいてもV-Log Lに対応したLUMIX Gシリーズや、V-Logに対応した当社製シネマカメラ VARICAMやフルサイズ一眼カメラ LUMIX Sシリーズで撮影した動画と組み合わせ、一貫した絵作りの映像編集を行うことができます。



## ●当社マイクロフォーサーズ規格初のCinema4K 60p 10 bit動画記録など充実の動画記録モード

Cinema4K(4096×2160)モードで、60p 10 bit記録を実現しました。早い動きの被写体も、ローリングシャッター歪み現象を抑えながら自然で滑らかな映像が撮影でき、高精細で臨場感あふれる動画を記録できます。8 bit記録に比べ64倍の情報量を持つ10 bit記録は、グラデーションや微妙なニュアンスの階調を得られるので、編集やグレーディングの自由度を向上させます。8 bit記録に比べて2倍の色情報、全体として128倍の情報量を保有する4:2:2 10 bit記録をSDカードに内部記録することも可能で、さらにALL-Intra記録にも対応し、最大400Mbpsの高ビットレート記録は、高度なノンリニア編集に対応します。HDMI出力は、4:2:2 10 bitの4K 60p映像出力ができ、外部レコーダーへ高画質な4K映像を記録することができます。また4:3アスペクトのアナモフィックレンズに対応した、4Kアナモフィック動画記録など、プロの映像制作現場に応える充実の動画記録モードを搭載しています。

【 動画記録モード抜粋 】 MOV システム周波数 : 59.94Hz (NTSC)						
	フレームレート	ビットレート	サンプリング	圧縮	コーデック	オーディオ
Cinema4K (4096×2160)	59.94p	200Mbps	4:2:0, 10bit	LongGOP	H.265/MPEG-H HEVC	LPCM/ ハイレゾ*
	29.97p	400Mbps	4:2:2, 10bit	ALL-I	H.264/MPEG-4 AVC	
	23.98p					
4K (3840×2160)	59.94p	200Mbps	4:2:0, 10bit	LongGOP	H.265/MPEG-H HEVC	
	29.97p	400Mbps	4:2:2, 10bit	ALL-I	H.264/MPEG-4 AVC	
	23.98p					
4K アナモフィック (3328×2496)	59.94p	150Mbps	4:2:0, 8bit	LongGOP	H.264/MPEG-4 AVC	
	29.97p	400Mbps	4:2:2, 10bit	ALL-I		
	23.98p					
FHD (1920×1080)	59.94p	200Mbps	4:2:2, 10bit	ALL-I	H.264/MPEG-4 AVC	
	29.97p					
	23.98p					

\* 別売のXLRマイクロホンアダプター DMW-XLR1 装着時。

## ●すべての記録モードで記録時間無制限(※1)

高精度な放熱シミュレーションと放熱ファンを搭載した放熱構造により、すべての動画記録モードにおいて、動作保証温度内における記録時間無制限(※1)を実現しました。長時間撮影を可能にすることで30分を超えるノーカット撮影やドキュメンタリー撮影など、幅広いプロの撮影現場の信頼に応えます。

## ●シネマカメラVARICAMとの統一した絵作りを追究した映像ルック シネライクD2/V2

Log撮影やポストプロダクションでのカラーグレーディングを行わなくても、当社製シネマカメラVARICAMやS1Hの絵作りの思想を反映したルックを再現するシネライクガンマを活用することで、シネマライクで印象的な絵作りが可能になります。ダイナミックレンジを優先した「シネライクD2」、コントラストを重視した「シネライクV 2」をフォトスタイルから選択可能です。

## ●頭部認識に対応、認識機能の強化により、追従精度が向上したリアルタイム認識AF

AI分野の先進技術であるディープラーニングを応用した自動認識のアルゴリズムに、人体の「頭部認識」を加えることで、人物に対するAF追従性能を強化したリアルタイム認識AFを搭載しました。動く被写体や、人物の顔が隠れてしまうようなシーンでも、頭部と人体の位置やサイズ、画角により撮影意図をカメラが自動で判別し、背景抜কেを抑えながらフォーカスし続けます。人の顔と瞳を検知し、自動でピントを合わせる「顔・瞳認識AF」も「頭部認識」により、遠くの小さな顔も認識し続けることが可能になりました。強化された「人体認識AF」と「顔・瞳認識AF」の組み合わせで、人物へのより高精度なAF追従を実現します。また「動物認識AF」も搭載しているので、動物に対しても高いフォーカス性能を発揮します。

## ●ダブルSDカードスロットを搭載

撮影用途に合わせて2基のSDカードスロットを搭載しました。容量がいっぱいになった際に1枚目から2枚目のSDメモリーカードへスイッチする「リレー記録」、2つのSDメモリーカードで同時に記録する「バックアップ記録」等の設定が可能なので、動画撮影に最適な記録方式を選べます。SDメモリーカードは、UHS-II Video Speed Class 90 に対応します。

### 3. プロフェッショナルの制作現場に応える信頼性・拡張性

#### ●LUMIXとして初めてBNC端子(3基)とLAN端子(PoE+対応)を搭載

マルチカメラ撮影時などに複数台のカメラを制御し、効率的なオペレーションを実現するために、3基のBNC端子とPoE+対応のLAN端子、HDMI端子を装備しました。



#### ・BNC端子...3G-SDI出力、タイムコード(TC IN/OUT)、Genlock入力に対応

3G-SDIは、FHD 60p 4:2:2 10 bitの外部出力が可能で、長距離のケーブル引き回しに加え、ケーブル抜けも防止できます。HDMIは、4K 60p 4:2:2 10 bitの外部出力が可能です。HDMIと3G-SDIからの同時出力にも対応しているため、3G-SDIとHDMIの両端子を併用または使い分けすることで、動画記録やモニタリングの自由度が向上します。また、タイムコード(TC IN/OUT)は、時・分・秒・フレーム数の情報を自動で記録し、効率よい映像編集をサポートします。Genlock入力は、フレーム位相を合わせることで、例えば高速の被写体を複数台のカメラでスイッチング撮影する際などにも精度の高い同期を可能にします。タイムコードとGenlock入力を併用することでマルチカメラ撮影での高度なオペレーションを実現します。

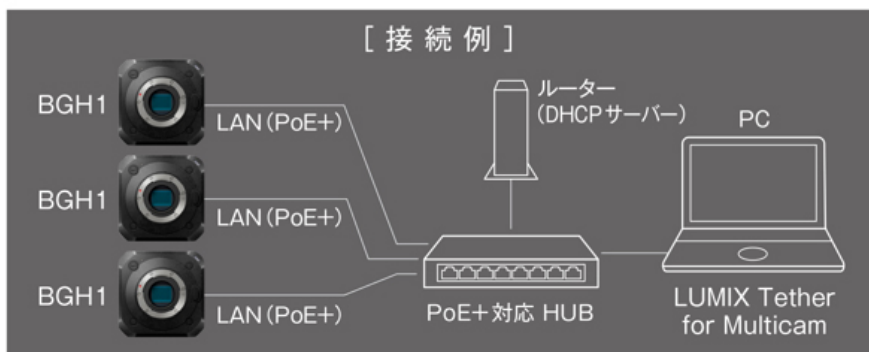
#### ・LAN端子...PoE+対応で、パソコンから複数台のカメラを制御

PoE+ (Power over Ethernet) 対応機器<sup>(※3)</sup>へ接続すればLANケーブルを使った電源供給も可能。

※3: 複数のPoE+端末を接続できる給電装置によっては、給電できるトータル電力の制限を超えると電源が供給されない場合があります。

#### ●1台のパソコンから本機複数台(最大12台<sup>(※2)</sup>)を制御可能

ハブとLANケーブルを使い本機とパソコンを接続し、パソコンからカメラをコントロールすることが可能です。本機の発売に合わせて公開する専用ソフト「LUMIX Tether for Multicam」をパソコンへインストールし、パソコン画面上でライブビューを確認できます。また、指定したカメラの絞り、シャッタースピード、ISO感度、ホワイトバランスなどの設定を変更することも可能で、マルチカメラ撮影時の細かな設定をスムーズに行えます。また、USBケーブルを経由して同様の制御を行うことも可能です。





## ●自由なソフトウェア開発が可能なLUMIXのSDKを公開

LUMIX制御用のSDK(Software Development Kit)を初めて公開します。本機を始めとするLUMIX Tether対応機種をUSB経由で操作するAPIを使用することで、自由なソフトウェア開発が可能となり、ユーザー独自の撮影フローを構築できます。

- ・対応機種:DC-BGH1/S1R/S1/S1H/S5/GH5/GH5S/G9
- ・対応OS:Windows 10(64 bit)
- ・SDKの詳細については、下記ページをご覧ください。  
<https://panasonic.jp/support/software/tool/sdk.html>

## 【上記以外の主な特長】

- なめらかなスローモーション、メリハリのあるクイックモーション映像を記録できる「VFR(バリエーションフレームレート)」
- 動画撮影に便利な豊富なアシスト機能「ゼブラパターン」「スポット輝度メーター」「輝度レベル設定」
- アナモフィック撮影後に仕上がりがイメージを確認できる「アナモフィックデスクイーズ表示」
- スマートフォン用アプリ「LUMIX Sync」によるリモート撮影機能
- スマートフォンとのかんたんペアリング、省エネで常時カメラと接続できる「Bluetooth®4.2」
- 無線接続が可能な「Wi-Fi® 2.4 GHz」
- 寒冷地でも対応するマイナス10℃の「耐低温設計」
- リグやケージ、三脚など装着して拡張できる11個の「ビス穴(三脚取り付け部)」
- DC-BGH1の詳細な仕様は、WEBサイトをご覧ください。  
[https://panasonic.jp/dc/products/g\\_series/bgh1/spec.html](https://panasonic.jp/dc/products/g_series/bgh1/spec.html)

- ・マイクロフォーサーズ™及びマイクロフォーサーズロゴマークはオリンパス(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- ・Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- ・“Wi-Fi CERTIFIED”™ロゴは、“Wi-Fi Alliance®”の認証マークです。Wi-Fi®・WPA™・WPA2™は、Wi-Fi Alliance®の商標または登録商標です。
- ・SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- ・スマートフォン／タブレットでの操作には専用アプリ「LUMIX Sync」をスマートフォン／タブレットにインストールする必要があります。対応OS。(2020年10月現在)  
Android™用:Android5以上。(Bluetooth機能は、Android 5.0以上で、Bluetooth 4.0以上搭載が必要。但し、Bluetooth Low Energy非対応の一部の機種を除く。)  
iPhone用:iOS11以上。
- ・スマートフォン／タブレットアプリ「LUMIX Sync」はパナソニック株式会社の提供する、Wi-Fi搭載LUMIXから送信された写真や動画を受信したり、リモート操作をしたりするアプリケーションです。
- ・「LUMIX Sync」(無料配布)は「Google Play™」または「App Store」より入手することができます。
- ・AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- ・App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。  
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。